

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	令和 2年 3月 31日
団 体 名	J A佐久浅間助け合いの会	代 表	佐々木邦子
事 業 名	J A佐久浅間助け合いの会	「ほほえみ広場」	
対 象 経 費	373,038 円	支 援 金 交 付 対 象 経 費	373,038 円
支 援 金 額	186,000 円		

事業の目的・内容	目的 佐久地域でも、一人暮らし世帯や高齢者世帯が増えています。高齢者が可能な限り住み慣れた生活の場で安心して自分らしい暮らしが続けられる地域づくりをめざすため、定期的に歩いて参加できる身近な地域の交流の場として、みんなで支えあう地域力をつけることを目的とした「ほほえみ広場」を継続して開催できました。令和元年度は、3か所の新規開設を目標としてすすめてきましたが、2か所の新規開設でした。また、「ほほえみ広場」で先立ちができる活動会員を増やすと共に、同会の活動内容を知ってもらう機会と気軽に参加できる機会としての場をつくりました。
	内容 目的の達成のため、同会員の拡大や地域に向けた公開講座・講演会を開催しました。会員や地域の皆さんの理解や関心を深めるため、広報活動を行いました。

事業の活動実績	J Aの地域ボランティアとして、地域の高齢者が可能な限り住み慣れた生活の場で安心して自分らしい生活が続けられる地域づくりをめざしました。そして、歩いて参加できる場所で定期的に「ほほえみ広場」の継続開催ができました。また、公開講座や広報活動を積極的に行い、会員の拡大に努めました。以下、報告します。
	<p>①新規会員の拡大 活動会員 10名、賛助会員4名 合計14名の会員の増加 全体の会員数 298名（うち、活動会員174名、賛助会員124名）</p> <p>②「ほほえみ広場」の開催、新規開設「ほほえみ広場」の状況報告 地域での「ほほえみ広場」延べ 292会場、3,648人、「おでかけほほえみ広場」4回、173人 うち、新規開設「ほほえみ広場」は、平賀地区、切原地区の2会場。</p> <p>③地域のみなさんの理解や関心を深めるために、地域に向けた公開講座・講演会 ・専門家から、高齢者や認知症の理解をするための専門研修会（認知症、音楽療法） ・「生きる喜び」や「楽しみ」を見出す支援をするため、手先や頭を使う趣味創作技術を身につけ、集団の中での指導をする講座（季節の花を使ったアレンジメントなど） ・どの年代にも対応できるリクレーションについて専門的な知識・ノウハウを学び、身につけ、転倒予防等の介護予防体操を参加者へ指導を行うための講義（音楽療法、お手玉、体操、健康教室、佐久市の出前講座）</p> <p>④広報活動、教室の案内 ・専門家によるチラシの作成、33,000枚の配布をし、14名の会員に新規申し込みいただきました。</p>



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>2回目の支援金事業に参加させていただき、佐久市行政をはじめ、多くの皆さんにJA佐久浅間助け合いの会の組織や同会の趣旨、地域で開催している「ほほえみ広場」を知っていただける機会があり、大変うれしく思います。</p> <p>健康寿命を延ばし、なるべく介護保険制度に頼らず、元気で住み慣れた地域で暮らし、地域で地域の住民とともに共助できたら、こんな素敵なことはありません。</p> <p>令和元年度も、地域での交流の場、ふれあいの場として「ほほえみ広場」の継続開催と新規開設が2か所でき、全体の開催会場が増えました。</p> <p>参加者からの声は以下のとおりです。</p> <p>「大きな声で号令をかけ、体を動かして体が温かくなってよかった。 クイズで頭の体操になったね。皆に会えて楽しく過ごせた。 来月も皆さんとお会いしたい。久しぶりにたくさん話ができ。 素敵な折り紙が出来上がりがうれしい。みなさんと話ができよかった。 参加する人を増やすよう声かけをしていきたい。久しぶりに歌を歌うよ。 フラダンスを教えてほしい。カフェに行ってみたい。 近所の人ともあう機会がないので話したり、歌ったりとても楽しかった。 毎回楽しみにしている。話ができ気持ちが明るくなった。楽しみにしている。 尿失禁の話が聞けて良かった。久しぶりに楽しいね。お手玉ができて楽しかった。 頭がすっきりした。いいお茶会でした。またやってほしい。」</p> <p>会員も14名増えました。引き続き同会の活動を多くの皆さんに知っていただく機会をつくりたいと思います。</p> <p>地域包括支援センターの会議において、生活コーディネーターと交流を持つことができ、コーディネーターが「ほほえみ広場」の会場に足を運んでいただきました。地域と共にこの会がこれからもますます発展していけたらと思います。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>新規開設目標は3か所でしたが、2か所で新規開設ができました。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>地域の高齢者の皆さんへ声をかけました。安否確認もできました。参加者の喜んでいる声が聴けました。公開講座にし、広く地域のみなさんに知っていただく研修の機会ができました。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>通信費が多くかかりました。講演会の講師料につきましては、同会の活動の趣旨に賛同いただき、無料や安価でお引き受けいただきました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>「ほほえみ広場」が昨年度より1か所も減らず、継続ができ、参加者が元気で参加できました。地域の介護予防の社会資源として評価されました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>同会の趣旨の理解をしていただき、賛同いただきますように、いままで以上に広報活動を行います。</p> <p>令和2年度は、活動会員のネットワークづくりで、地域力が発揮できるようにすすめていきたい。参加者の声を入れながら、活動マップづくりを行い、各地域で「ほほえみ広場」が持続可能な活動となるように、事務局のJAも力をいれていきます。</p>
---------	--